

めいせい

〈第26号〉

発行：(社)愛知建築士会名古屋西支部
名古屋市中村区名駅南3-7-20
第2ワカサビル
若狭工業株式会社内
TEL(052)561-2111
FAX(052)581-7019
編集：広報委員会
印刷所：中丹青写真(株)
TEL(052)732-2227

新支部長あいさつ

水谷友彦



この度、名古屋西支部長の
の重任を仰せつかり、その
責務の重大さをひしひしと
感じております。支部創立
時、何も分からぬまま「名
前だけでも役員に……」と
のお誘いをうけ、常議員の
一員に加えていただきまし
た。初期の役員会は、これ
迄(社)愛知建築士会の重責を
担ってこられた諸先輩が名
を連ね、たいへん緊張した
雰囲気で行われました。今
後の支部運営とあり方
についての白熱した議論を
末席で聴きながら、只々感
心するばかりで一言も発言
することが出来ませんでした
。そんな私が、支部長を
拝命することになると、と
もに考えられないことでは
、当時の思い出すと、この
の務めを果たすには、役
員並びに会員の皆様のご協
力を頂き、ご期待に応えら
れるよう精一杯努力をして
まいります。

さて、名古屋西支部は平
成二年九月の創立以来、歴
代役員の方々の熱心な努力と
支部活動への会員各位のご
支援・ご協力により、活発
な事業活動を行ってまいり
ました。特に年三回の会報
「めいせい」の発行と、充
実した内容の研修会・見学
会の実施は、支部事業の柱
として、その成果を上げて
きました。引き続き更に充
実した研修見学会の実施、
魅力ある会報作りを推進し
てまいります。又、今年度
は新事業として、会員懇談
会及び支部交流懇談会の開
催を企画し、今後の支部運
営並びに事業を考えたいと

新副支部長あいさつ

江崎正守



支部青年部は親会に遅れ
ること二年半余り、平成五
年四月に産声を上げました。
初代藤田青年部長をはじめ
歴代部長・役員の方々が着
実に実を結び、支部での事
業のみならず、本会青年部
でも活躍されてきました。
次世代を担う青年部会員の
更なる飛躍に期待し、応援
していきたいと思っております。
四十歳以下の若い会員諸氏
の青年部会への参加も心か
らお願い致します。

平成十一年度は通常総会
報告にもありますように、
総務企画委員会、研修委員
会、広報委員会、青年部会
の事業に加え、名古屋六支
部合同の十周年記念事業を
十一月二十日(土)、東山会館
をメイン会場に開催します。
昨年六月より六支部の代表
が集まり準備・検討を重ね
てきました。講演会も多彩
な内容で四講座を企画し、
見学会、会員懇談会等を開
催致します。支部会員の多
数のご参加を切にお願い致
します。その他、昨年度に
引き続き「美濃路住まい・
まちづくり推進協議会」の
事業継続も決定し、多忙な
一年になりそうです。

世紀末の今日、私達は大
変厳しい環境の中に置かれ
ています。公益法人として
の(社)愛知建築士会も、総会
の定足数は正会員の1/2、定
款変更には正会員の3/4の同
意が必要になる等、厳しい
内容の定款改正が本年度通
常総会で議決されました。
今後は、これまでの運営及
び事業の他、手続きの上で
も困難な道のりを歩まねば
ならず、これを乗り切る為

平成十一年度
支部通常総会報告

支部総会は今回で第九回
目を迎え、去る四月十六日
ホテル・サンルート名古屋
にて開催されました。

村上梓野氏の司会により、
長谷川隆雄副支部長の開会
宣言。中村順吉支部長挨拶
は、支部設立以来初代馬場
富雄支部長の後任支部長と
して、会員・役員の方々の
得て長年支部のために努力
してまいりましたが、今日
で退任し、楽になります(会
場は笑いの渦、一瞬出席者
全員が支部長の人柄と功績
に對しての賛美の笑い)。今
後共、新支部長のもと支部
発展を期待する旨のお話し
でした。続いて本会来賓と
して出席していただいた常
務理事田宮祥江氏のご挨拶
は、支部長様以下一番元氣
のある支部に是非一度出席
したくて、手を上げて出席
する機会を得ました。不況

で、現在失業者の多い時期
に、愛知建築士会として、
みんなで元気をだして行く
ためにどうすればよいか。
建築基準法の改正に伴い、
民間の指定確認検査機関制
度による、機構設置で、会
員のために寄与できるのか
検討中です。

今後、元氣の源として、
中部国際空港、国際博等、
二〇〇五年に向けて、目白
押しした事業に對し、我々は
何をしたらよいのか、合
て名古屋支部の元氣な活動へ
の賛辞をいただきました。

江崎正守氏の議長により
定足数確認(委任状を含む
出席者一六一名)を行い本
総会の成立を宣言し議案審
議に入りました。審議の初
頭に第六号議案のその他に
ついて諮り意見なしのため
削除。第一号議案平成十年
度事業報告を村瀬祐爾総務
企画委員長より、収支決算
及び貸借対照表を水谷友彦
副支部長(会計担当)より
説明。横井正治監事より監
査報告。第二号議案平成十
一年度事業計画案を曾我明
久常議員より、収支予算案
を村瀬委員長より説明。第
三号議案支部規程改正案を
水谷副支部長より説明。第
四号議案支部相談役及びオ
フザーパーの承認を中村支
部長より説明。最後に第五
号議案平成十一年度支部
役員選出案を中村支部長よ
り役員選出会議の経緯と役

平成十一・十二年度の支部役員
及び委員会委員が決定

●各委員紹介●		名古屋西支部役員選出基 準により、支部役員が決ま り、四月十六日の平成十一 年度通常総会で承認されま した。また、五月十一日の 役員会で各委員会の委員も 決まりました。	
支部長	水谷 友彦	副支部長	桜井 孝司
常議員	江崎 正守	常議員	山田 正博
	長谷川 隆雄		岡島 直樹
	白井 鑑造		浦野 一男
	新美 峰子		戸崎 知則
	大山 永次郎		岡田 威
	水野 威		松本 周
	河田 健		山川 元伸
	藤田 篤志		鈴木 次郎
員名簿案の説明。第一号から第五号議案まで議案の承認を諮ったところ全て質疑なく多数の拍手により議案は承認されました。			
議事終了後に水谷友彦新支部長の挨拶と新支部役員の紹介の後、関本正之青年部長が閉会を告げ総会を終了いたしました。			
引き続き懇親会に移り、退任役員の方々に記念品の贈呈も行なわれ、会員相互の親睦を計りました。			
◆各委員決定◆			
委員長	神田 勝彦	副委員長	新美 峰子
委員	長谷川 隆雄	委員	岡島 直樹
	横井 正治		岡田 威
	戸崎 知則		松本 周
	宮坂 英司		山田 正博
	関本 正之		富田 浩嗣
○印は新任を示す			
委員長	曾我 明久	副委員長	中村 道雄
委員	河本 肇	委員	宮坂 英司
	村上 粹野		村瀬 祐爾
	横井 正治		神田 勝彦
	関本 正之		中村 順吉
	浦野 一男		浦野 三男
	馬場 富雄		丸藻 伸一
	白井 鑑造		長谷川 隆雄
	曾我 明久		浦野 一男
	大山 永次郎		岡田 威
	水野 威		松本 周
	河田 健		山川 元伸
	藤田 篤志		鈴木 次郎
	村瀬 祐爾		水野 威
	中村 順吉		桜井 孝司
	牛田 信彦		中村 道雄
	白井 鑑造		浦野 一男
	河本 肇		村上 粹野
	山川 元伸		松本 周
	岡田 威		横井 正治
	戸崎 知則		宮坂 英司
	松本 周		山田 正博
	岡島 直樹		長谷川 隆雄
	神田 勝彦		横井 正治
	中村 順吉		浦野 一男
	浦野 三男		馬場 富雄
	丸藻 伸一		白井 鑑造
	長谷川 隆雄		曾我 明久
	浦野 一男		大山 永次郎
	岡田 威		水野 威
	松本 周		河田 健
	山川 元伸		藤田 篤志
	鈴木 次郎		村瀬 祐爾
	水野 威		中村 順吉
	桜井 孝司		牛田 信彦
	中村 道雄		白井 鑑造
	浦野 一男		河本 肇
	村上 粹野		山川 元伸
	松本 周		岡田 威
	横井 正治		戸崎 知則
	宮坂 英司		山田 正博
	長谷川 隆雄		横井 正治
	神田 勝彦		中村 順吉
	浦野 一男		浦野 三男
	馬場 富雄		丸藻 伸一
	白井 鑑造		長谷川 隆雄
	曾我 明久		浦野 一男
	大山 永次郎		岡田 威
	水野 威		松本 周
	河田 健		山川 元伸
	藤田 篤志		鈴木 次郎
	村瀬 祐爾		水野 威
	中村 順吉		桜井 孝司
	牛田 信彦		中村 道雄
	白井 鑑造		浦野 一男
	河本 肇		村上 粹野
	山川 元伸		松本 周
	岡田 威		横井 正治
	戸崎 知則		宮坂 英司
	山田 正博		長谷川 隆雄
	横井 正治		神田 勝彦
	中村 順吉		浦野 一男
	浦野 三男		馬場 富雄
	丸藻 伸一		白井 鑑造
	長谷川 隆雄		曾我 明久
	浦野 一男		大山 永次郎
	岡田 威		水野 威
	松本 周		河田 健
	山川 元伸		藤田 篤志
	鈴木 次郎		村瀬 祐爾
	水野 威		中村 順吉
	桜井 孝司		牛田 信彦
	中村 道雄		白井 鑑造
	浦野 一男		河本 肇
	村上 粹野		山川 元伸
	松本 周		岡田 威
	横井 正治		戸崎 知則
	宮坂 英司		山田 正博
	長谷川 隆雄		横井 正治
	神田 勝彦		中村 順吉
	浦野 一男		浦野 三男
	馬場 富雄		丸藻 伸一
	白井 鑑造		長谷川 隆雄
	曾我 明久		浦野 一男
	大山 永次郎		岡田 威
	水野 威		松本 周
	河田 健		山川 元伸
	藤田 篤志		鈴木 次郎
	村瀬 祐爾		水野 威
	中村 順吉		桜井 孝司
	牛田 信彦		中村 道雄
	白井 鑑造		浦野 一男
	河本 肇		村上 粹野
	山川 元伸		松本 周
	岡田 威		横井 正治
	戸崎 知則		宮坂 英司
	山田 正博		長谷川 隆雄
	横井 正治		神田 勝彦
	中村 順吉		浦野 一男
	浦野 三男		馬場 富雄
	丸藻 伸一		白井 鑑造
	長谷川 隆雄		曾我 明久
	浦野 一男		大山 永次郎
	岡田 威		水野 威
	松本 周		河田 健
	山川 元伸		藤田 篤志
	鈴木 次郎		村瀬 祐爾
	水野 威		中村 順吉
	桜井 孝司		牛田 信彦
	中村 道雄		白井 鑑造
	浦野 一男		河本 肇
	村上 粹野		山川 元伸
	松本 周		岡田 威
	横井 正治		戸崎 知則
	宮坂 英司		山田 正博
	長谷川 隆雄		横井 正治
	神田 勝彦		中村 順吉
	浦野 一男		浦野 三男
	馬場 富雄		丸藻 伸一
	白井 鑑造		長谷川 隆雄
	曾我 明久		浦野 一男
	大山 永次郎		岡田 威
	水野 威		松本 周
	河田 健		山川 元伸
	藤田 篤志		鈴木 次郎
	村瀬 祐爾		水野 威
	中村 順吉		桜井 孝司
	牛田 信彦		中村 道雄
	白井 鑑造		浦野 一男
	河本 肇		村上 粹野
	山川 元伸		松本 周
	岡田 威		横井 正治
	戸崎 知則		宮坂 英司
	山田 正博		長谷川 隆雄
	横井 正治		神田 勝彦
	中村 順吉		浦野 一男
	浦野 三男		馬場 富雄
	丸藻 伸一		白井 鑑造
	長谷川 隆雄		曾我 明久
	浦野 一男		大山 永次郎
	岡田 威		水野 威
	松本 周		河田 健
	山川 元伸		藤田 篤志
	鈴木 次郎		村瀬 祐爾
	水野 威		中村 順吉
	桜井 孝司		牛田 信彦
	中村 道雄		白井 鑑造
	浦野 一男		河本 肇
	村上 粹野		山川 元伸
	松本 周		岡田 威
	横井 正治		戸崎 知則
	宮坂 英司		山田 正博
	長谷川 隆雄		横井 正治
	神田 勝彦		中村 順吉
	浦野 一男		浦野 三男
	馬場 富雄		丸藻 伸一
	白井 鑑造		長谷川 隆雄
	曾我 明久		浦野 一男
	大山 永次郎		岡田 威
	水野 威		松本 周
	河田 健		山川 元伸
	藤田 篤志		鈴木 次郎
	村瀬 祐爾		水野 威
	中村 順吉		桜井 孝司
	牛田 信彦		中村 道雄
	白井 鑑造		浦野 一男
	河本 肇		村上 粹野
	山川 元伸		松本 周
	岡田 威		横井 正治
	戸崎 知則		宮坂 英司
	山田 正博		長谷川 隆雄
	横井 正治		神田 勝彦
	中村 順吉		浦野 一男
	浦野 三男		馬場 富雄
	丸藻 伸一		白井 鑑造
	長谷川 隆雄		曾我 明久
	浦野 一男		大山 永次郎
	岡田 威		水野 威
	松本 周		河田 健
	山川 元伸		藤田 篤志
	鈴木 次郎		村瀬 祐爾
	水野 威		中村 順吉
	桜井 孝司		牛田 信彦
	中村 道雄		白井 鑑造
	浦野 一男		河本 肇
	村上 粹野		山川 元伸
	松本 周		岡田 威
	横井 正治		戸崎 知則
	宮坂 英司		山田 正博
	長谷川 隆雄		横井 正治
	神田 勝彦		中村 順吉
	浦野 一男		浦野 三男
	馬場 富雄		丸藻 伸一
	白井 鑑造		長谷川 隆雄
	曾我 明久		浦野 一男
	大山 永次郎		岡田 威
	水野 威		松本 周
	河田 健		山川 元伸
	藤田 篤志		鈴木 次郎
	村瀬 祐爾		水野 威
	中村 順吉		桜井 孝司
	牛田 信彦		中村 道雄
	白井 鑑造		浦野 一男
	河本 肇		村上 粹野
	山川 元伸		松本 周
	岡田 威		横井 正治
	戸崎 知則		宮坂 英司
	山田 正博		長谷川 隆雄
	横井 正治		神田 勝彦
	中村 順吉		浦野 一男
	浦野 三男		馬場 富雄
	丸藻 伸一		白井 鑑造
	長谷川 隆雄		曾我 明久
	浦野 一男		大山 永次郎
	岡田 威		水野 威
	松本 周		河田 健
	山川 元伸		藤田 篤志
	鈴木 次郎		村瀬 祐爾
	水野 威		中村 順吉
	桜井 孝司		牛田 信彦
	中村 道雄		白井 鑑造
	浦野 一男		河本 肇
	村上 粹野		山川 元伸
	松本 周		岡田 威
	横井 正治		戸崎 知則
	宮坂 英司		山田 正博
	長谷川 隆雄		横井 正治
	神田 勝彦		中村 順吉
	浦野 一男		浦野 三男
	馬場 富雄		丸藻 伸一
	白井 鑑造		長谷川 隆雄
	曾我 明久		浦野 一男
	大山 永次郎		岡田 威
	水野 威		松本 周
	河田 健		山川 元伸
	藤田 篤志		鈴木 次郎
	村瀬 祐爾		水野 威
	中村 順吉		桜井 孝司
	牛田 信彦		中村 道雄
	白井 鑑造		浦野 一男
	河本 肇		村上 粹野
	山川 元伸		松本 周
	岡田 威		横井 正治
	戸崎 知則		宮坂 英司
	山田 正博		長谷川 隆雄
	横井 正治		神田 勝彦
	中村 順吉		浦野 一男
	浦野 三男		馬場 富雄
	丸藻 伸一		白井 鑑造
	長谷川 隆雄		曾我 明久
	浦野 一男		大山 永次郎
	岡田 威		水野 威
	松本 周		河田 健
	山川 元伸		藤田 篤志
	鈴木 次郎		村瀬 祐爾
	水野 威		中村 順吉
	桜井 孝司		牛田 信彦
	中村 道雄		白井 鑑造
	浦野 一男		河本 肇
	村上 粹野		山川 元伸
	松本 周		岡田 威
	横井 正治		戸崎 知則
	宮坂 英司		山田 正博
	長谷川 隆雄		横井 正治
	神田 勝彦		中村 順吉
	浦野 一男		浦野 三男
	馬場 富雄		丸藻 伸一
	白井 鑑造		長谷川 隆雄
	曾我 明久		浦野 一男
	大山 永次郎		岡田 威
	水野 威		松本 周
	河田 健		山川 元伸
	藤田 篤志		鈴木 次郎
	村瀬 祐爾		水野 威
	中村 順吉		桜井 孝司
	牛田 信彦		中村 道雄
	白井 鑑造		浦野 一男
	河本 肇		村上 粹野
	山川 元伸		松本 周
	岡田 威		横井 正治
	戸崎 知則		宮坂 英司
	山田 正博		長谷川 隆雄
	横井 正治		神田 勝彦
	中村 順吉		浦野 一男
	浦野 三男		馬場 富雄
	丸藻 伸一		白井 鑑造
	長谷川 隆雄		曾我 明久
	浦野 一男		大山 永次郎
	岡田 威		水野 威
	松本 周		河田 健

青年部通常総会報告

青年部長 関 本 正 之

去る四月十六日、青年部通常総会が名古屋駅前ホテルサンルート名古屋で行われました。今年で任期を終えられ、中村支部長、本会青年部より安井副部長を招いて、十年度の事業、収支決算報告、次年度の事業計画、予算、役員案などの議案が全て承認されました。

十年度の事業として、大きなものは、支部対抗ソフトボール大会の幹事運営でした。前年度は予備日を含む2日間共雨で流し、当日の天気はどうなるか、皆心配していましたが、小雨の降る中、何とか開催することができ、二十二年に一度の役目を終えました。その他にも、新入会員歓迎会、高原ヤナでの鮎料理、支部対抗ゴルフ、ボリング大会などで会員相互の親睦を深め、研修では「ホームページ」を作ろうなども行いました。全体的に親睦中心の事業が多かった



青年部通常総会

名鉄西枇杷島駅、須ヶ口駅までの古き良き街並みを散策し、新川町のキンビール名古屋工場にて工場見学などを行ないました。散策ルートは、我が西支部で昨年より取り組んできました「美濃路・ロマンと感動の街づくり」の一部の路地で、街並みを保存、再生、活性化させて行き、住宅地も含めた街づくりを推進していくというテーマにおける対象ルートの一部です。協議会メンバーの方々の様々なアイデアにより、大変わかりやすいパンフレットも作成されました。このような活動を県下の青年部の皆さんを通じて紹介して行く事で、個々の建築士の役割、今後の活動の参考になつて行くものと思われ

今年度は総務企画委員会、支部設立十周年をむかえ、いつもの事業のほかにも記念事業が計画されてお

みんなが参加する支部へ

総務委員会だより

に名古屋ABCホールにて会員の懇談会を開催致しました。ぜひこの機会に参加していただき、御意見を聴かせ下さる様お願い致します。また、今年度から総務企画では渉外部門も積極的に行なうと、十月に交流を目的に他支部を訪問し、いろいろと意見交換を行って、支部のかかえるそれぞれの問題等を情報交換し、これからの支部の運営に役立てて行きたいと考えております。

研修委員会だより

日頃は当支部の研修見学会に御参加いただきありがとうございます。今年度の研修見学会の第一回の行事は前委員会よりの引継ぎとして、中電中村営業所殿及び、中部菱和エンジニアリング殿の御協力を得て、去る六月一日「環境共生時代の住宅づくり」と題して太陽光発電と高気密住宅システムの勉強会を実施しました。特に太陽光発電に関しては参加者が深い興味を示され、多数の質問が出されました。

広報委員会だより

今年度は、広報委員会の舵取りをやらせていただき、七の月に空から大王が降つてくると言われていますが、予言的中となるか、いよいよ予言の真価が問われます。来年はセントラルタワーで初日の出を見学して新事業の作戦をねりたいと思います。きつと事業もありです。お楽しみに。



懇親会

さらに今年度から支部の運営の簡略化を進めようとしております。今後、支部会員の動向、会費の納入状況の把握、あるいは会報「めいせい」の発送、その他の研修事業の案内等、事務処理をできるだけ簡単にできるようにシステムづくりを考えてまいります。これらについては皆様の御理解とご協力を必要といたしますので今後共ご支援をよろしくお願い致します。

本件については今年度中にもう一投掘り下げた研修会を再度実施するの必要を感じているところであります。二回目以降の研修課題につきましては既に実施している初心者パソコン教室や、今年度は法令改訂の年であり、法令の勉強等も考えられます。また中村区の古い木造家屋(料亭)の見学会等々について検討しているところであります。今年度の研修委員は大幅に交替しましたが、意欲的で且、新風を吹き込む面々も多く名を連ねており、会員の皆様に興味ある研修

パソコン教室に参加して

石田 康 男

パソコンとの最初の出会いは、昭和六十年に再就職した事務所でした。「これはパソコンの時代になる」という社長の考えで、CADのソフトを選定することから始まりました。パソコンの事をまったく知らない私がCADと言っても何がなんだかさっぱりわかりませんでした。当時は資料も少なくいろいろ迷いましたが、予算の事もあり失敗しても再度買い換えることができる二次元CADに決めました。(今でもそのソフトを使って作図しています。)

導入したその日から製図機は一切使わず「どんなに時間が無くても、CADを使って作図する」の心意気で、毎日夜遅くまで勉強していました。その後、三次元CADも導入しましたが、二次元CADの方が扱いやすいと思いました。今回の「パソコン教室」に参加したのは、「エクセル」(表計算ソフト)の事を知らなかったからです。今までは「ロータス」で作業をしていましたが「エ



パソコン教室でのみなさん

名古屋西支部 新入会員紹介

H11. 3. 18~H11. 7. 6

地区	氏名	生年	自 宅 住 所	自宅TEL	勤務先
中村	小野 泰三	S49	〒481-0033 西春日西之保字立石128-1	(0568) 24-2689	佐伯建設工業株
〃	吉田 勝秋	S44	〒452-0914 新川町土器野新田天水816 リバーサイド庄内B-103	409-8607	(株)船場
〃	遠藤 昭子	S49	〒453-0841 中村区稲葉地町2-1	413-5479	(南野正組
〃	加藤 文博	S49	〒453-0043 中村区中村町2-98	471-1872	(南中日住建
〃	高橋 重輝	S47	〒453-0013 中村区亀島2-15-19	452-6738	大功建設株
〃	千賀 富太	S8	〒453-0823 中村区日ノ宮町4-102-2	483-6388	千賀建築事務所
〃	恒川 康典	S33	〒490-1144 海部郡大治町西條字南井口11-2	444-2230	(株)名建設計
西	上村 建市	S48	〒451-0025 西區上名古屋3-19-21-310	531-4637	大井建設株
〃	高村 弘志	S29	〒451-0053 西區枇杷島1-7-18	531-5299	中部復建株
〃	浦野 直樹	S39	〒466-0834 昭和区広路町石坂5-4 アーバンドエル八事石坂1405	834-0393	株サンウラ/設計
〃	荒島 雅廣	S23	〒443-0032 蒲郡市丸山町6-24	(0533) 68-4950	荒島建築設計室

転入(復帰)会員紹介

H11. 3. 18~H11. 7. 6

地区	氏名	生年	自 宅 住 所	自宅TEL	勤務先
中村	浜本 昭夫	S29	〒450-0003 中村区名駅南2-8-11太陽工業内	541-5119	太陽工業(株)名古屋支店
西春日井	伊藤 顕	S33	〒481-0004 師勝町大字鹿田字神明附29	(0568) 21-3867	(南伊藤建築

アクリルゴム系外壁塗膜防水材

アクリトーン[®]

JIS A 6021 許可番号687004

アクリトーンの品質は、JIS A 6021(屋根用塗膜防水材)の規格に適合し、日本工業規格表示を許可された製品です。また、このアクリルゴム系塗膜防水はJAS58(防水工事)の中で外壁塗膜防水層の標準材として設定されている唯一の材料です。

アクリトーンMR外壁改修システム

アクリル系弾性塗料

メタコート[®]G

アクリトーン会東海支部会員の責任施工による施工管理の徹底

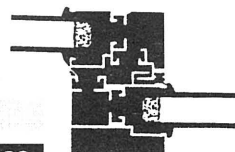
外壁防水工事は、材料の優れた性能や安定性と共に、施工の技術や管理の良不良によってその成果が左右されます。アクリトーン会による責任施工がユーザーの信頼に応えます。

お問合せ先 アクリトーン会東海支部事務局(三菱レイヨン株式会社アクリトーン事業部内) 名古屋：名古屋市中村区名駅3丁目28番12号(大名古屋ビル) 〒450-0002 ☎(052)561-6716



YKK AP

日本の窓に、生活断熱。 テルモア



断熱・遮音・防露・省エネ・割増融資

株式会社YKKAP愛知 TEL 052-211-8006

人と地球にやさしいO Aフロア

ネットワークフロア - Eco

共同カイトック株式会社

http://www.ky-tec.co.jp

中部 FS 営業所 〒 450-0003 名古屋市中村区名駅南 1-24-8 TEL (052) 581-0204

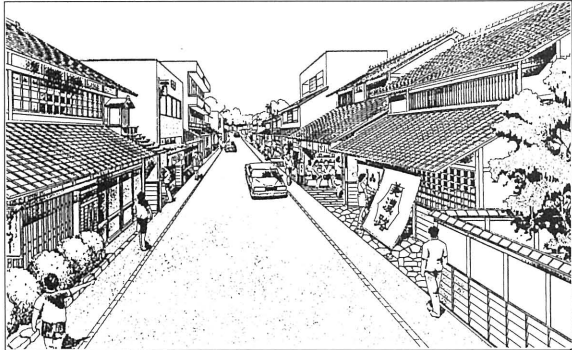
「美濃路地域住まい・まちづくり推進協議会」経過報告

平成十年九月に設立された協議会も第二回地域連携型住宅・市街地策定委員会での説明と報告を行い、成果品を提出する事ができました。今回は前記策定委員会の様子と平成十一年度の活動方針などについて報告させていただきます。

第二回策定委員会は三月十六日、KKR名古屋三の丸にて開催されました。出席者は策定委員会委員七名・県民住宅課五名・愛知県住宅センター二名・愛知建築士会十五名・コンサルタント四名 計三十三名でした。三河湾(蒲郡支部・尾張東部丘陵地(瀬戸支部)・美濃路(名古屋西支部)の三地域について各支部担当より計画の説明、報告がなされました。委員より「次年度からは支部の考えを地域に根づかせる方法が必要」、「自己主張しない人の意見をまとめる姿勢が望ましい」、「高齢者に対する具体的な提案がない」などの意見が述べられました。

三月二十五日、第五回協議会を西枇杷島町役場第一委員会室にて開催、第二回策定委員会の報告、成果品の内容説明、説明を行い平成十一年度の事業を終りました。

四月十八日、西枇杷島町で第四回「み」のじ遊々さんでいが開催され、問屋記念館前にてまちづくり活動のパネル展示、参加者募集の案内・美濃路マップの配布を行いました。マップは「西枇杷島まつり」・新川町「ふれあいウォー



美濃路・町並みイメージ

研修会

環境共生住宅づくり

限元祥之

百聞は一見にシカズ
三菱電機工場見学に参加して

晴天に恵まれた六月一日の本曾路の初夏「環境との共生」、むずかしい分野と想ったが、参加してみた。着いた所はリンゴ園の中に工場がある様な広々とした中に建つ建物群。説明より見学第一の思いで入った工場内、圧倒される思い、さすが大企業三菱、整理された場内、チリつけない、個人ではとても見学させてもらえないものではない。土会館の御陰と感謝ライン化された太陽光電池パネル組立、やはり太陽光が一番なのか、音の出

ない送風発電はなぜ取り上げられないのか等々疑問が残る。また機会あらば聞いてみたい。そして「自家発電装置付住宅」として訪れた住宅。その仕組みが自分の思いと全然違い、その無知恥じる思い「百聞は一見にシカズ」を実感する。聞きかじりでない見学の大事さを思い知る事と成った。国策時代の要求か？もう始まっている。ガス燃焼火力、火力発電所これらが制御して成るクリーンなものの辺り、見送り受けて、換気扇工場、たかが換気されど換気である。その奥深く追求を知る事となる。高気密住宅で、その解決で悩み種々研究

めいせい山歩同好会

春の東海自然歩道

横蔵寺―妙法ヶ岳―華嚴寺

成田 富美雄

リーダーのUさん、登山家のOさんはさすが山歩きがと変わりない。要所にある丸太の階段が、人工的でないかにも予算を消化したかという使い勝手の悪い代表である。この階段はかえって疲れるので止めてほしい。けい上げも踏み面もバラバラで歩幅を乱し疲れを助長するだけだ。地面に這うように咲いた花の中で一つ印象に残っているのがある。それは「マムシの花」といわれている。まるでゴブラが鎌首をもたげているように薄気味悪かった。

三角標のある峠を越えソロソロと気味のこころ、広い空き地に出た。ここで二組のパーティがすでに休んでいた。その場所がちょうど高圧鉄塔の真下であった。ここで昼メシを食べることになった。早速缶ビールをのむ。Uさんが鉄塔を上り始めた。そのまま上まで行ったら危険だなと思っていたら途中で引き返したの



研修会参加者のみなさん



山歩き同好会参加者のみなさん

家族親睦ボーリング大会に参加して

尾野 好之

さる一月二十三日に春日井市のオーランドボウル春日井に於いて、青年部主催の家族親睦ボーリング大会が行われました。

今大会は二月の、支部対抗ボーリング大会の予選会を兼ねて行われ、二十名の精鋭が参加して、激しいバトルが繰りひろげられましたが、結果は、仕事疲れのせいか皆さん惨憺たる結果でした。なんと、河本さんの奥様が20点(2ゲーム)で3位になり、ご主人もかたなでした。

優勝は私で、321点、準優勝は牛田さんで、293点でした。た。上位三名が支部対抗ボーリング大会に自動的にエントリーされることとなり、当日がとても心配でした。その後、有志で新年会がいつも通りの酒池肉林の宴が行われました。

昨年度のスポーツ大会(ゴルフ・ソフトボール・ボーリング)の成績は、名古屋支部が上位にあり、今回のボーリングで優勝なら文句なく、また準優勝でも他の支部の結果次第では、年間グランドスラム達成のチャンスでした。ちなみに、一昨年度は、年間グランドスラム達成をして、2年連続で優勝しました。

支部長杯トロフィー青年部に渡る
支部長杯ゴルフ大会に参加して

川越 浩

去る五月二十日前日の雨が嘘のように晴れ渡り爽やかな朝日の中で、今日はゴルフ日和と俺は晴れ男だ(参加した皆さん考えておられたら最高の日やな「な」って自分勝手なことを考えながら8回支部長杯ゴルフ大会がある「みとゴルフ倶楽部」へと向いました。

からかなりの風が吹いてきて一番ティグラウンドでの開会式の時台風並の風が吹き荒れ、立っているのがやっとというほどで、スポート刈(1cm程度)にした私の髪が前後左右に乱れ、柳を持ってこなかったのがくやまれました。支部長の始球式の後、い



支部長から優勝カップを受ける川越さん(右)



ゴルフ大会参加者のみなさん

うキャディーさんの声で始まり先行が案じられました。前半九ホールが終わり48というスコアに100の台を覚悟しました。昼食の時、一緒に組の斉藤さん、山口さん、村山さんから「ボールに当たらないで振り抜きなさい」とアドバイスをいただいたとたん、午後からの十番ホールはパーで始まり十八番ホールはパーで終わり39、合計87という好スコア(自分自身)にハンディが16も付き



ボーリング大会参加者のみなさん

第8回名古屋西支部長杯成績表 (筆者・青年部役員)

1	川越 浩	48	39	87	70.2
2	尾野好之	50	41	98	71.6
3	斉藤政克	44	41	84	71.6
4	丹羽勝之	43	42	85	71.6
5	神田勝彦	44	40	84	71.6
6	山口靖彦	48	50	98	74.8
7	浦野一男	49	52	101	75.6
8	高柳美之	47	49	96	73.2
9	水谷友彦	50	58	108	79.2
10	江崎正守	56	62	118	81.6
11	山田正博	58	57	115	88.0
12	関本正之	58	64	122	91.0
13	牛田信彦	55	68	123	92.0
14	村上粹野	69	67	136	95.2
15	村山末夫	65	67	132	102.0

リフォーム・リニューアル・バリアフリー

外壁塗装に高耐候性仕上げ アクリルシリコン・フッ素樹脂加工

株式会社 ムラテ

〒453-0861 名古屋市中村区岩塚本通1-51

TEL 052-411-8111

営業所 津島・名岐

MITSUBISHI

三菱住宅用太陽光発電システム

ご提案・設計・施工・お見積り・国補助金手続等、ご相談お待ちしております！！

三菱電機直系：株式会社 中部菱和エンジニアリング

ご相談窓口 フリーダイヤル 0120-53-1160

建築基準法解説シリーズ

令第43条の解説

解説担当 馬場 富雄

この第四十三条の解説につきましては、今までかなりの回数を使いましたが今回でこの条の解説を終ります。今回の第6項の解説は力学用語の説明になってしましますが、どうか御了承下さい。では例によって条文を掲げます。

(柱の小径)
第四十三条
1 5 省 略
6 構造耐力上主要な部分である柱の有効細長比は百五十以下としなければならない。

(第6項の解説) まず「構造上主要な部分」とありますが、これは令第一条第三号で定義するように建築物の自重、積載を始め、積雪、風圧、地震等の外力を支える柱のことで、壁の凹凸を防ぐためのものとか、デコレーション的なものはこの項の適用がありません。次に「有効細長比」という用語が出てきます。これは座屈荷重を計算する時に必ず出てくるものですが、この座屈現象については平成九年十一月十四日発行の「めいせい」第21号で既に若干の解説を致しました。しかしこの「有効細長比」の説明は未だですので今回は構造力学の講義にならないような範囲で、あくまで法解釈上の教養として簡単に説明致します。まず力学の書を読みますと座屈の所で「細長比」ほそながひ、(さいちようひと読む人も時々ある)という用語が出てきます。この用語の読み方ですが我々が通常よく用いている「ほそながひ」という言葉から「ほそながひ」と読んだ方がよく状態を連想できますね、しかし読みやすい観点からゆきますと「さいちようひ」の方が言い

このλが座屈のおこしやすさを表わしている数値なのです。単位は分子、分母とも長さの単位ですので約分されてしまっておりません。すなわちλというのはその材の座屈長さが大きいほど、そして断面2次半径が小さいほど(λが分母にあるため)その値が大きくなり座屈が起き易いということを表わします。次にiで表わす断面2次半径のことを説明します。別名回転半径とも呼びその大きさを長さの単位で表わします。次の式をごらん下さい。

$$i = \sqrt{\frac{I}{A}}$$

i は柱の断面2次半径
I は断面2次モーメント
A は材の断面積

まずIについてですが、この断面2次モーメントという用語はあまりにも有名なこの用語を知らない人はないと思いますが念のため説明します。断面2次モーメントとは、その断面のある軸に対してその断面を細かく部分部分に分けてその部分の面積に軸までの長さの2乗を乗じたものの集積の位です。単位はcm⁴となり、cmで表わされます。すなわち同じ断面積でも形が大きい程部分面積の位置が軸より遠くなり断面2次モーメントの値は大きくなります。断面2次モーメントが大きいということ、I/Aが小さくなる、λは逆に小さくなる座屈を起しにくくということになるのです。たとえば同じ断面積でも丸棒をパイプ型丸棒にすると径がうんと大きくなり、座屈に対しては非常に有利ということになります。次にI/Aについて説明致します。I/AはAに対して如何に大きなIを持っているかという断面積を面積で表わしている

と考えることができます。なんとすればIはcm⁴、Aはcm²ですのでI/Aの単位はcm²になります。これを更に長さのcmの単位で表そうとする時に√を計算すれば、一辺が何センチメートルの正方形で表わしたということになるのです。I/Aはその大きさを面積で表わしたのに対し、I/Aはその大きさを長さで表わしたということになります。これでλ/iの単位を消すことができますのである。この事により座屈を防ぐには同じ断面積でも如何に形を大きくするかということになります。木材の単一柱の場合合は断面積を一定にして形を変えろということはお出ませんので、座屈に対しては柱の太さを大きくして断面2次モーメントを増やしてゆくよりほかに方法がありません。この点鋼構造には大へん工夫の分野があります。これで一応細長比の説明を終わりますが、条文を読みますと「有効細長比」となっています。なぜ条文は有効という文字を頭につけるのかについて説明します。この有効というの「有効部分」とか「有効巾」とかに用いる有効の意味と同一のもので、たとえば一枚の板の形が凸凹だったとしますと、その凸凹の中から一枚の板をとるとすると第1図のようにになります。この図からおわかりになると思いますが、有効巾は凹の一番広い所で決まります。すなわち座屈の場合でも一番条件のひどい所でおこります。これを力学的にいいますと、その断面の各方向の軸で考えるそれらの細長比の中で一番大きな値を示す所で必ず座屈がおきるのです。ですから安全のためにそこで座屈を考えなさいというのが法の精神です。このことを「細長比」ではなくて「有効細長比」というのです。この有効さえ理解すればそんな

にむつかしい話ではありません。たとえば木材の柱で長方形断面の時、長辺方向と短辺方向では明らかに短辺方向の方が柱の厚みが小さく座屈は必ずその弱い方向でおこります。ですからその一番弱い方向で座屈を考えなさいということを行っていますだけの事です。次に有効細長比の位を百五十以下にせよということはどういうことかを説明します。今まで何百年もの間、この座屈に対しては学者によってたくさん研究と実験が行なわれてきました。その結果、細長比の変化によって材料の許容座屈応力度がどのように変化するのかがわかってきました。それは細長比が百付近をこえると急に座屈しやすくなり、材料の許容座屈応力度がどんどん下がってゆくのです。(第2図参照)

この細長比が百までの間の許容座屈応力度について、たくさんの実験を行い理論式を発表したが、あの有名なテトマイヤー先生でした。そして細長比が百より大きくなると許容座屈応力度がどうなるかという研究も数多くなされ、やはりあの有名なオイラー先生の理論式が一番適切であるということもわかってきました。

この事が基本となって実際の座屈計算の方法が世界中で研究されたのです。我が国の場合ドイツで行なわれている座屈構造計算方法を基にして更に日本建築学会の構造委員会に於いて我が国の実状に適するように改善し、その結果を建築基準法の中に採り入れました。これが建設省告示第十七百九十九号に示されています。すなわち有効細長比が百をこえるものと百以下に分けて算出式を変えています。これはオイラー先生とテトマイヤー先生の研究が基本になっているのです。今の我々の座屈実務計算はまさにこの両先生の研究の上に成り立っているといつても過言ではありません。では今回の話の最後になりますが有効細長比を百五十で切った理由です。これは今まで説明しましたように、有効細長比が百をすぎるとかなり座屈しやすくなり、構造的にも不安定だといふことになりました。したがって細長比が百を過ぎたしばらくは認めるとしても、木構造では一応百五十(鋼構造は二百)までとし、それより更に不安定な設計は禁止するというのを決めたのです。今回は第四十四条の解説にはいりません。

この第1図は、凹の一番広い所で有効巾を測る様子を示しています。第2図は、細長比λ(横軸)と許容座屈応力度(縦軸)の関係を示すグラフです。λが100を超えると、許容座屈応力度は急激に低下します。

この第2図は、細長比λ(横軸)と許容座屈応力度(縦軸)の関係を示すグラフです。λが100を超えると、許容座屈応力度は急激に低下します。

春夏秋冬

さる五月二十八日に本会の通常総会が開催され、愛知建築士会も新年度がスタートし、各委員会、部会においても新しい取り組みが始まっています。本会青年部会においても本年度より各種議案のEメール提出が始まりました。パソコンが身近になり、インターネットも接続が簡単に became a reality. 二十二支部の出向者からなる組織の合理化を目的に昨年度の準備期間を経て、実施に漕ぎ着けました。

この間、議案提出者である委員長や受け付ける総務ラインのメールアドレスの取得や議案フォーマットの整備に手間取ったりと幾つかの問題がありました。時間が経ってクリアし今日に至りました。

環境問題の観点からすると、議案提出まではペーパーレスとなるが役員会では紙資料が必要となる今回の制度は決して十分とは言えませんが、その第一歩を踏み出したと言えるでしょう。

我が名古屋西支部でも青年部をはじめ、何人かの役員がメールアドレスを持っているなど環境が整いつつあります。

ノートパソコンを開いてペーパーレス会議、こんな光景が近い将来役員会で見られるでしょう。(直チャン)

編集後記

例年、うつうつしい雨が続くこの季節ですが、近年、空梅雨と呼ばれる年も少なくなく、四季を感じにくくなっているような気がします。確かに、晴天が続けば、気分は爽快です。しかし、特徴のない季節を過ごした後に迎える新しい季節は、何か新鮮さに欠けるようです。四季のある地に生活する我々にとって、寒い冬を終えた春の到来、梅雨を終えた夏の到来は、欠かせないものでしょう。建築や都市においても、次への期待を抱かせてくれる何かを求めて行きたいものです。(ドラえもん)

医療法人 珪山会

鵜飼病院

理事長 鵜飼 昌訓

〒453-0025 名古屋市中村区賑町26番地
TEL (052) 461-3131(代)
FAX (052) 483-4798

医療法人 珪山会

中部リハビリテーション専門学校

理学療法学科 一部(昼間) 二部(夜間)

〒453-0028 名古屋市中村区寿町7番地
TEL (052) 461-1677(代)

学校法人 珪山学園

日本聴能言語福祉学院

聴能言語学科・補聴言語学科
介護福祉学科・義肢装具学科

〒453-0023 名古屋市中村区若宮町二丁目14番地
TEL (052) 482-8788(代)

医療法人 珪山会

中部看護専門学校

看護学科

〒453-0028 名古屋市中村区寿町29番地
TEL (052) 461-3133(代)

医療法人 珪山会

日本医療福祉専門学校

作業療法学科・福祉技術学科
医療福祉情報学科
精神保健福祉学科(昼・夜間)

〒453-0023 名古屋市中村区若宮町2丁目2番地
TEL (052) 482-8878(代)

＜生ゴミをわずか1時間でほとんど消滅！！＞

生ゴミ完全消滅機「マサカー」

- 応用活性触媒(天然鉱石)の力で生ゴミ処理の課題を一気に解決。この飛躍的なスピード化が、大量の生ゴミ処理を容易に効率よく導きます。
- 消滅した生ゴミは水と微量の炭酸ガスだけに。まったくの無害で、しかも排水設備も不要です。
- 応用活性触媒の働きと微生物を加えないことで、悪臭も抑制。あくまで自然・クリーンです。
- 触媒機能により、塩分濃度・水分・PHの調整が容易。取扱いに余分な手間がかかりません。
- 1日当り処理量 20tまで設計可能。用途に合わせて生産します。

未来に地球を残します・・・

中部環境システム(株)

〒452-0001 西春日井郡西枇杷島町古城2-16-9
TEL 052-504-7566